

平成二十九年度 秋季 鎌倉俳句&ハイク

季節 「秋」

期間 平成二十九年八月一日〜平成二十九年十月末
投句数 二、三一一句

特選三句

天 大仏の影黒々と残暑かな

神奈川県横浜市港南区 田阪 武夫

地 金風の源氏山より鳶の声

兵庫県神戸市灘区 池田 雅一

人 名月や島を出て行く渡し舟

神奈川県横浜市青葉区 山下 省三

入選句

一般の部

秋の野の名無き仏に手を合はす

神奈川県海老名市

荒 和夫

吾亦紅活けて鎌倉彫の店

東京都武蔵野市

池田 章子

漁師町ぬつと出てくる日焼の子

東京都武蔵野市

池田 宏治

由比ヶ浜台風去りて波の跡

神奈川県横浜市戸塚区

大高 浩

夏休み大仏の下友を待つ

群馬県太田市

小川 和輝

登高や谷戸の奥なる虚子の墓

東京都町田市

笠原 祥郎

涼新たな箒目清き円覚寺

茨城県常陸太田市

加藤 申女

泰平のまどろみに落つ桐一葉

神奈川県横浜市港南区

木村 清子

山門に空蝉すがる円覚寺

群馬県前橋市

清井 圭子

大仏の頭上に高く鯛雲

愛知県小牧市

桑山 美知代

和やかな鎌倉宮の秋まつり

神奈川県鎌倉市

児玉 純一郎

大仏の空に一声鴟猛る

愛知県稲沢市

佐藤 貞子

雨音のなく雨だれや寺の秋

東京都町田市

竹内 弘

禅林の木立に失せし百舌鳥の声

神奈川県横浜市青葉区

寺橋 正光

小鳥くる鎌倉山のテラスかな

埼玉県さいたま市浦和区

櫛田 範子

ひかぬ汗天狗の団扇風欲しき

神奈川県横浜市金沢区

林 直美

等身の仏親しや今朝の秋

東京都北区

町田 蒼風

長谷寺の歴史知る旅ソード水

栃木県益子町

松崎 力

観音の笑みさわやかにこぼれたる

静岡県浜松市東区

宮澤 寛

ひぐらしにさそわれおりる長谷の駅

千葉県柏市

桃井 尚代

(順不同)

入選句

子どもの部

夜の空きらきらと散る花火かな

埼玉県加須市

藤間 妃世

大仏をもみじのまどからのぞき見る

岡山県浅口市

山路 花

本かく寺かくれた所にひがん花

神奈川県鎌倉市

庄田 瑛人

静けさと秋風薫る鎌倉宮

東京都新宿区

下山 宙

鎌倉は雨より紅葉似合う町

東京都新宿区

仲宗根 空

長谷寺の水面に映る秋の色

東京都新宿区

川本 千広

鎌倉の秋の町並み通り過ぎ

東京都新宿区

中條 俊秀

頼朝も毎日見てたいちようかな

神奈川県鎌倉市

山本 陸

長谷寺やろうそく灯る秋の夕

東京都八王子市

関島 千晶

橋わたり紅葉まい散る帰り道

神奈川県横浜市港北区

大西 健士郎

(順不同)